

平成維新・全国協議会準備会議事録

この議事録は平成維新・神奈川の岩田氏・小川氏・萩野谷氏のご提供によるものです。ご提供に感謝します。都民の会では「平成維新を実現する各地の会のゆるい連絡会的なものがあつた方がよい。ただし主体性は、あくまで各地の会にある」との合意が形成されています。この考えから、江頭代表世話人と長谷川文昭氏が都民の会を代表して出席しました。以下平成維新・神奈川提供による議事録（原文のまま）。

標記会は、支援センター閉鎖後の全国的組織の在り方について、かねてより大阪・藤岡氏を中心に検討が進められてきた流れをくむものであり、10月29日に首都圏を除く任意団体で第1回全国協議会が開催され、その後、第2回全国協議会を開催するにあたり、その性格付けを討議するために開催されました。平成維新神奈川では、かかる全国協議会への加盟にはいまだ会員の間でのコンセンサスが必要であるとしながらも、状況把握のために特に3名の総合運営委員を派遣し、下記のような説明・意見交換・大前氏の談話（編集部注：大前氏談話については長谷川氏文責の物を掲載）を得て参りましたのでご報告します。

注 意：「全国協議会」の呼び掛けは、藤岡宛と大前通信事務局宛に登録済みの任意団体に行われている。しかし、今回は自主的な運営の全国組織である「全国協議会」に賛同する人の交流のための集まりであり、「全国協議会」そのものではない。（岩田）

記

日 時：1995年12月17日 午後1:00～3:00

会 議 3:00～4:00

大前氏談話 5:00～6:00

懇親会

場 所：大阪・新阪急ビル12Fスカイルーム

参加者：大前研一（提唱者）、藤岡（協議会事務局）、高崎（九州道）、細川・荒島（麦の会）、岡本（明日の風）、真野・安定（旧・兵庫2区）、中島（平成維新・奈良）、当真（沖縄道州）、小笠原雅彦（青森）、香月（全国私設応援団維新バス）、森（広島）、中村・神田（川崎維新の会）、藤原（神戸）、杉本（平成維新アクセス21）、徳田（広島）、野口（大阪）、小笠原・橋本（東海・平成維新の会）、青田（福島）、高山・首藤（神戸）長谷川・江頭（都民の会）、岩田・小川・萩野谷（平成維新神奈川）

議 事：

1. 司会・高崎政弘氏から下記説明があつた。

暫定議長として私、暫定事務局長として藤岡裕三氏という事で進めたい。事前の連絡もしたが、財政的理由で支援センターがなくなり全国的にこの会はどうなるのかという心配が従来から会員の間であつた。そこで、全国組織を立ち上げていきたいので、皆さんに来て貰った。代表は今後「提唱者」に専念するが、大前研一通信4頁中の1頁分をこれに割けるといっている。名称は「平成維新を実現する会」とし、それに帰属する各会は「平成維新を実現する会・福岡」とか「平成維新を実現する会・九州」として欲しい。従来から色々なバリエーションが使用されてきたが、個人の私的ビジネスに利用されたり、混乱したりするので、統一的なロゴマークのもとで大前氏とにやっていく以上、今後はそうして欲しい。

大前氏への苦情センターが無くなって、やりたい事をやる人が賛同して集まった会であれば良いと思う。今後、資金の面でオーストラリアで米の栽培と輸入をやり、会員に売ったりすることで益金をバックするなども検討している。

また、大前通信は黒字になっていないので、5千円のペイバックはやめて寄付ということで良いと思う。それから、この会の運営費としては、会員数に応じて50円/人を納めるとか

色々な考え方があろうかと思う。大前も1人でマスコミや政治家を相手にしてやろうということなので、我々としてもサポートしてゆきたい。

2. 質疑応答

【質問A】6月の全国道州会議のファクス会議との関連はどうなっているか。

高崎氏 あれはあれでいいが実際に機能していないので、今回はオールクリアということで進めたい。

藤岡氏 ファクス会議のあと移行事務局ができた。その段階で任意団体が多数参加すると思ったが、いっこうに登録希望がでてこないで、ヤメジャということになった。今、希望を表明しているのは10ヶ所程度だが、全体でどうなっているかはよく分からない。

【質問B】首都圏道が第1回目の会合に入っていないのはなぜか。

高崎氏 首都圏は、維新の会とは無関係に自分たちでやりたいということで、先走っている印象があつたので呼び掛けは慎重にしたいと思った。

【質問C】既に立ち上げた所は、支援センターの閉鎖により、活動維持のために組織化したのだから先走っているというのはいおかしい。任意団体として既に組織を固めている所では、条件によってはのめないものもある。

高崎氏 そういう所は去っていつてもらって結構である。地球人ロゴで、大前氏の考えに賛同して活動するのだから、一定の条件が満たされる必要がある。

【質問D】大前氏がそう言っているのか。

高崎氏 大前氏がそう言っているのではなくて、我々がそうでなければならないということだ。

【質問E】（司会）川崎からの出席者が居るが、川崎は神奈川の一員ではないのか。

神田氏 羽生ゆうこ氏から連絡があり、時間があつたら出てみないかというので、参加した。

岩 田 川崎との間で、組織的な位置づけについてはまだ調整がついていない。

中村氏 将来の方向性が見えた段階で県の中に入るかどうか決めるということで、今は全く別組織である。県が全国組織に入るなら川崎もその中でやるのがベスト。しかし、県が自分たちだけでやりたいという話だから、我々は別々となっている。

萩野谷 全国組織への参加には具体的な一つ一つの条件で折り合いがつかねばならないのだから、最初に入るかどうかで物事を決めるのは単純にすぎる。例えば、当会の維新プレスは35号を数えているが、これに加えて大前通信の購読を必要とするのか。

高崎氏 会員である以上、大前通信の購読は必要だと思う。

3. 意見その他

東京：東京はオールクリアに賛成し、この会に参加することを表明する。

東海：OB杭（注：設定範囲）などと言うと難しくなる。東海の仲間で話し合ったところ、全国会議が単なる連絡会であれば、参加してもよいということであつた。

大阪：ネットワーク作りは必要だが、任意団体の事情も考慮したゆるやかなものをつくるべきだ。適合しないものは除外す